

人生のお荷物（1935）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 67分
初公開日 1935/12/10

【解説】
伏見晃の原作・脚色を、五所平之助が監督した小市民コメディ映画。軍人役の佐分利信が登場するシーンは、再公開時に大部分をカットされたという。
初老のサラリーマン・福島省三には三人の娘がいる。長女は医師、次女は画家と、それぞれ結婚しており、三女も軍人との結婚式を終えた。これですべて片付いたとほっとしたのも束の間、福島家にはまだ小学生の長男・寛一が残っていた。自分が高齢で作った子供であるにもかかわらず、省三は自分が70近くまで子供のために働かなければならないことに腹を立てていた。子供を邪険に扱う省三に腹を立て、妻のたま子は寛一を連れて家を出てしまう。

【クレジット】
監督 五所平之助
原作 伏見晃
脚色 伏見晃
撮影 小原譲治
美術監督 五所福之助
編集 渋谷実
森信
音楽監督 堀内敬三
助監督 蛭川伊勢夫
渋谷実
中本茂
荒井英郎
出演 斎藤達雄 福島省三
吉川満子 妻 たま子
葉山正雄 息子 寛一
坪内美子 長女 高子
大山健二 夫 小見山哲雄
田中絹代 次女 逸子
小林十九二 夫 栗山俊吉
水島光代 三女 町子
佐分利信 婿 中尉橋本公正
新井淳 仲人 阿部福太郎
飯田蝶子 妻 おかね
阿部正三郎 息子 余作
谷麗光 社員 南

小桜葉子	女給	葉子
六郷清子	女中	お浪